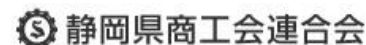


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 2 年 6 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 6 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 6 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【新型コロナウイルスで先行きが不透明であるが、製造業を中心に全体の業況は好転傾向】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-57.3（前月-61.0、前年同月-7.6）で、前月比 3.7pt 好転した。旅館業や付随する業界においては依然、新型コロナウイルスの影響により客足が戻らず厳しい状況が続いているが、他の業種に関しては業況が改善傾向である。特に製造業に関しては回復基調が顕著に表れており、全体の DI 値を押し上げる結果となった。

【製造業】

業況は-45.1（前月-54.9、前年同月-14.7）と前月に比べ 9.8pt 好転した。引き続き、新型コロナウイルスの影響により生産調整は行っているが、徐々に回復基調である。縫製業がマスクの需要増加に伴い、マスクの生産を開始した。

【建設業】

業況は-58.8（前月-58.8、前年同月 11.8）と前月に比べ変動なしとなった。工事の延期・現場作業停止が続いていたが、一部再開され始めた。しかし、今後の公共工事や民間需要の見通しを不安視する声が聞かれている状況である。

【小売業】

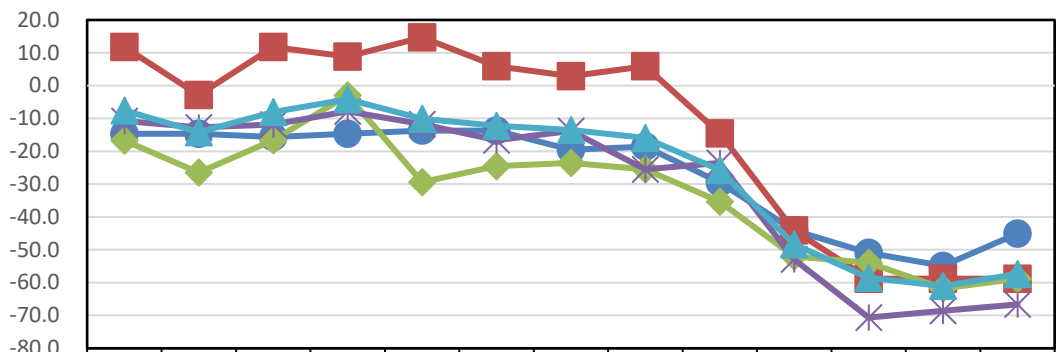
業況は-58.8（前月-61.8、前年同月-16.7）と前月に比べ 3.0pt 好転した。6月から各学校の部活動も始まり、衣料品関係は来店客数が増加している。また、夏場に向けてエアコン等の耐久消費財を購入する動きが見られている。食料品も好転しており、業界全体が改善されている。

【サービス業】

業況は-66.7（前月-68.6、前年同月-10.8）と前月に比べ 1.9pt 好転した。旅館業は先月に引き続き客足が鈍く、宿泊利用者は低調であったが理美容業においては先月よりも客足が戻ってきており、業況が改善傾向である。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和2年 6月期 業種別業況DI推移表＞



	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
DI値(製造業)	-14.7	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1
DI値(建設業)	11.8	-2.9	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8
DI値(小売業)	-16.7	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8
DI値(サービス業)	-10.8	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7
DI値(全業種平均)	-7.6	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・先月より回復基調にはあるものの、コロナ感染の危険性から、本格的な稼働には至っておらず、前年と比較すると悪化状態であると見受けられる。(伊豆)
- ・自動車関連は、低調。週休4日の事業所もあり、残業はほとんどない。建設資材関連は横這い。自動ドア(非接触型)の部品は伸びている。(富士駿東)
- ・新型コロナの影響もあり自動車関連製造業は低迷している。食品製造業は、上昇傾向である。(中部)
- ・寝具縫製業者が取引先等からマスク製造受注を受け生産開始。(中東遠)
- ・機械・金属において、親会社の休業により、週3日勤務により対応していたが、徐々に回復している。(西遠)

【建設業】

- ・リフォーム工事等一部再開されたものもあるが、基本的には減少。大手の下請企業では7月、8月にさらに悪化の見通しも有る。(伊豆)
- ・民間の設備投資は減少している。公共工事は今のところ例年並み。(富士駿東)
- ・現場状況にあまり変化はみられないが、今後、税込減少の影響により公共工事量が減少するのではないかと先行き不安となるとのこと。(中部)
- ・全体的には売上減で、持続化給付金を請求した事業者が多数。(中東遠)
- ・総合建設業は、現在受注中の仕事はあるが、新型コロナの影響で先の仕事が見えない状況である。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品品小売業・耐久消費財小売業)

- ・衣料品関係は多少来店者数が増えている。先月よりは良いが前年度比は大幅減。また、エアコンや空気清浄機の売れ行きは良いが客数は減少している。(伊豆)
- ・衣料品関係は手作りマスクが好調である。食品品はパン、洋菓子は、前年並みに推移。お菓子関連は大袋が売れていて好調。耐久消費財は調理器具が売れている。(富士駿東)
- ・新型コロナ感染が少し落ち着き始めたが、対策を行う必要性がまだまだ続く。(中部)
- ・食品小売りは自宅で過ごす時間がやや多く売上が若干増加している。(中東遠)
- ・スポーツ用品小売業にて6月から各学校の部活動が動き出し、ユニフォームの採寸等、多忙な日々を送っている。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・旅館業にて6月より営業を開始したが昨年対比で3割～5割でピーク時には程遠い状況である。(伊豆)
- ・緊急事態宣言が解除となったが、お客様は戻っておらず低迷している。(富士駿東)
- ・旅館業は徐々に利用客は回復し始めたが、前年比では悪化が続いている。(中部)
- ・理美容では客足が戻ってきている。(中東遠)
- ・理美容は6月に入り前年同月比で同額に戻ってきた店もある。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年6月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-52.9	-58.8	好転
売上	-50	-52.9	増加
仕入単価	0	-2.9	上昇
採算	-58.8	-55.1	悪化
資金繰り	-52.9	-58.9	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-32.4	好転
売上	-20.6	-26.5	増加
仕入単価	5.9	3	上昇
採算	-17.6	-23.5	好転
資金繰り	-17.6	-20.5	好転

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.9	-73.5	好転
売上	-61.8	-73.5	増加
仕入単価	-5.9	-3	低下
採算	-58.8	-67.7	好転
資金繰り	-58.8	-70.6	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-58.8	不変
売上	-53	-50	減少
仕入単価	5.9	5.9	不変
採算	-50	-50.1	好転
資金繰り	-55.9	-55.8	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-79.4	-82.4	好転
売上	-73.5	-73.6	増加
仕入単価	-8.8	-8.8	不変
採算	-64.7	-67.6	好転
資金繰り	-67.6	-79.4	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.2	-44.1	好転
売上	-20.6	-35.3	増加
仕入単価	5.9	3	上昇
採算	-44.2	-47.1	好転
資金繰り	-44.1	-47	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-55.8	-58.8	好転
売上	-52.9	-58.8	増加
仕入単価	5.9	0	上昇
採算	-44.1	-47	好転
資金繰り	-47	-50	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.6	-67.6	不変
売上	-64.7	-64.6	減少
仕入単価	-8.9	-8.9	不変
採算	-64.7	-64.7	不変
資金繰り	-64.6	-67.6	好転

9.洗濯業

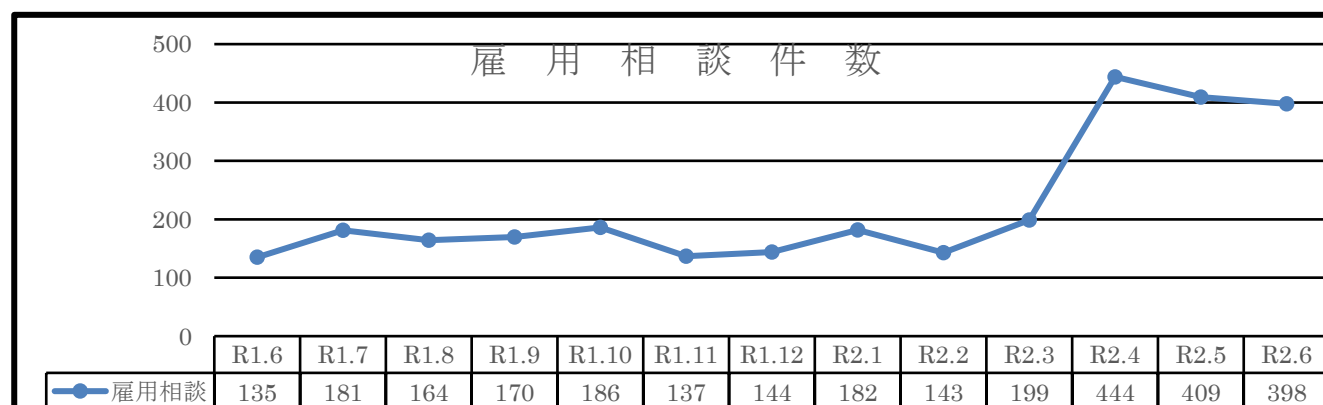
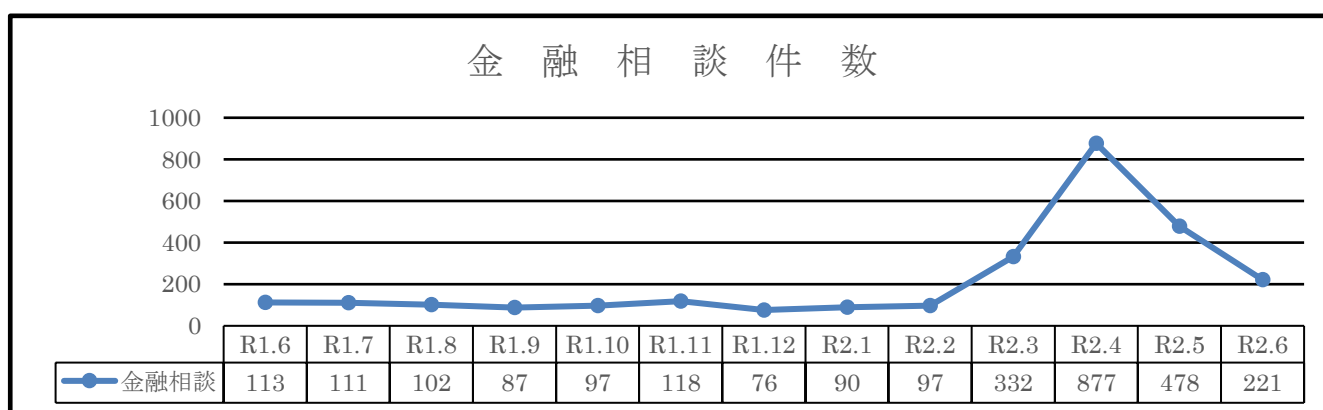
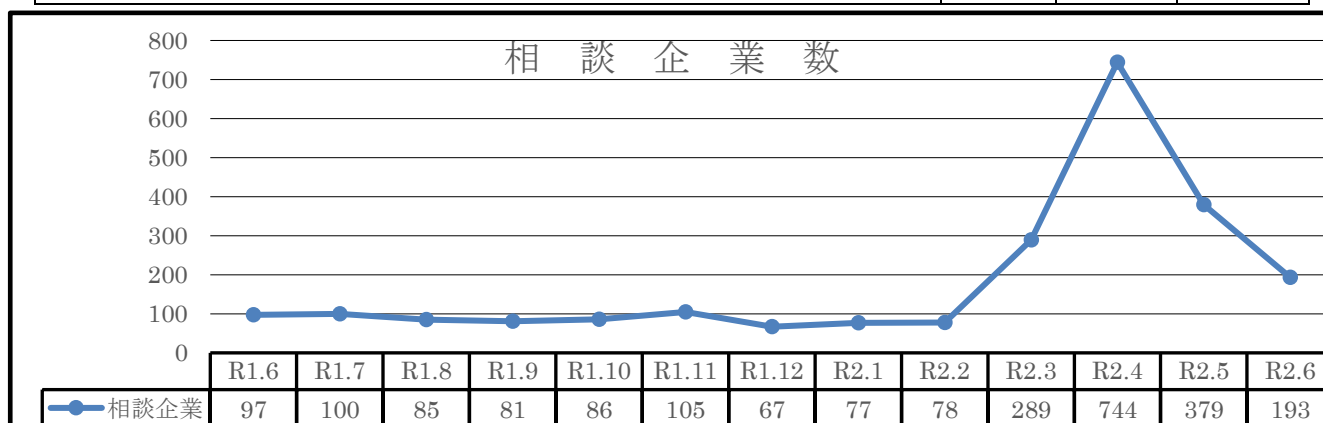
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.7	-67.7	不変
売上	-70.7	-70.6	減少
仕入単価	-2.9	-2.9	不変
採算	-52.9	-55.9	好転
資金繰り	-58.9	-58.8	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-64.7	-70.6	好転
売上	-53	-64.7	増加
仕入単価	-8.8	-11.8	上昇
採算	-50	-58.8	好転
資金繰り	-58.8	-64.7	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年6月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	193	379	-186
【金融相談件数】	221	478	-257
新規融資(借換えを除く)	135	295	-160
既存債務の借換え	79	140	-61
借入れ条件変更	0	1	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	7	42	-35
【雇用相談件数】	398	409	-11



【金融相談】

金融相談件数は、221件と前月(478件)に比べ257件減少した。各地で金融の相談件数が減少している。しかし、相談内容は依然、新型コロナウイルスの影響による融資相談が多い状況であり、相談が多い業種は製造業・建設業が多くなっている。

<経営指導員コメント>

- ・新型コロナウイルスの影響による金融相談は落ち着いたように感じられるが、早い段階で融資を受けた人が、想定より影響が長期化している事で、追加融資を検討している。(伊豆)
- ・当初は飲食業や観光関連の業種からの相談が多かったが、製造業や建設業からの相談が遅れて来ている状況。(富士駿東)
- ・金融相談は4、5月と比較して大幅に減少。民間金融機関の利用が増加している。(中部)
- ・持続化給付金に係る相談が多く、融資相談もコロナ関係が多い。(中東遠)
- ・建設業・製造業中心に先行き不透明のため運転資金確保による借入相談が多い。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、398件と前月(409件)に比べ11件減少した。先月に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、従業員を休業させる事業所が多く、雇用調整助成金に対する相談や問合せが多い状況である。

<経営指導員コメント>

- ・先月に引き続き新型コロナウイルスの影響で雇用調整助成金に関する相談が圧倒的に多い。(伊豆)
- ・小規模企業向けの手続簡略化の効果により、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた雇用調整助成金の相談、問合せが増加。(富士駿東)
- ・雇用保険の取得、喪失手続きに加え雇用調整助成金の相談が多い。(中部)
- ・社労士による無料相談会を定期的に開催している。(中東遠)
- ・自社で雇用調整助成金を申請する事業者があり窓口相談も多くなっている。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・「コロナに負けるな！河津町プレミアム商品券」を6/28(日)に発売し、町内の消費喚起を図った。(河津町)
- ・土肥サマーフェスタ中止決定。海底ワイン開栓式実施。(伊豆市)
- ・市内の海水浴場の一部は8/1～16と短い期間ではあるが実施する。(沼津市)
- ・富士市は独自に、前年同期比で売上30%以上減の月がある事業者に「持続化プラス給付金」を7月15日より行うことを決定した。(富士市)
- ・機関車トーマス運行が10月19日まで行われる。(川根本町)
- ・市内の飲食店で使用できるチケットを6月初旬に販売した。また、プレミアム付き商品券も発行され、市内の小規模企業の活性化を図っている。(御前崎市)
- ・クーポン付き、管内事業所のMAPが入ったコロナ対策折り込みチラシ(特別版)を作成した。(掛川みなみ)
- ・市内会議所と商工会が市の委託を受け20%のプレミアム付商品券発行事業を開始。取扱登録店募集と登録を実施した。販売開始は8/21～である。(浅羽町)
- ・例年6月に行われている観光協会主催の磯釣り大会が中止となった。(新居町)